

# 電磁界情報センターの 平成21年度中期業務計画(案)

## 電磁界情報センター

2009.6.30 第3回運営委員会

### 情報調査グループ平成21年度中期業務計画

		平成21年度 (2009年度)	平成22年度 (2010年度)	平成23年度 (2011年度)	平成24年度 (2012年度)	
情報調査グループ	情報収集・調査	電磁界関連情報(1次情報)の収集				
		入手した1次情報の詳細調査				
	情報整理・評価	電磁界データベースの整備				
		専門家による研究論文の個別評価				
		報道内容の精査				
	研究	磁界測定調査計画の検討	磁界測定調査の実施			磁界測定結果の整理と公開

## 情報提供グループ平成21年度中期業務計画(1/3)

		平成21年度 (2009年度)	平成22年度 (2010年度)	平成23年度 (2011年度)	平成24年度 (2012年度)	
情報提供グループ	情報提供ツールの整備	(ホームページ)				
		電力設備に関する詳細解説ページの整備				
		電力設備以外の発生源の基本Q&Aページの作成		電力設備以外の発生源の詳細解説ページの整備		
		英語ページの整備				
		(パンフレット)				
		基本構想の検討	各種パンフレット・冊子類の検討と作成			
		ニュースレター・メールマガジンの発行				

## 情報提供グループ平成21年度中期業務計画(2/3)

		平成21年度 (2009年度)	平成22年度 (2010年度)	平成23年度 (2011年度)	平成24年度 (2012年度)
情報提供グループ	双方向コミュニケーションの実践	問い合わせ対応			
		磁界測定要望に関する検討			
		総合討論会・意見交換会などの開催			
		6/4 特別講演会(東京) 7/9 意見交換会(仙台) 7/11 意見交換会(福岡)			
		啓発対象層および方法などの検討	対象層を特化した啓発活動の実施		

## 情報提供グループ平成21年度中期業務計画(3/3)

		平成21年度 (2009年度)	平成22年度 (2010年度)	平成23年度 (2011年度)	平成24年度 (2012年度)
情報提供グループ	リスク・コミュニケーション活動に向けた準備	リスク・コミュニケーション事例調査			
		リスク・コミュニケーション研修			
		リスク・コミュニケーション事例の分析			
		電磁界リスク・コミュニケーション手法の開発・提案			

## 管理グループ平成21年度中期業務計画

		平成21年度 (2009年度)	平成22年度 (2010年度)	平成23年度 (2011年度)	平成24年度 (2012年度)
管理グループ	各種委員会の立ち上げ・開催	運営委員会の事務取り扱い			
		電磁界に関する研究・広報専門家ネットワークの事務取り扱い			
管理グループ	センターの環境整備	規程類の検討・整備			
		センター内教育の企画・実施			

### 電磁界情報センターの目的

中立な立場から、電磁界に関する科学的な情報をわかりやすく提供するとともに、リスク・コミュニケーションの実践を通じて、電磁界の健康影響に関する利害関係者のリスク認知のギャップを縮小する。

### 目的を達成するための組織像:

**「一人ひとりに信頼される電磁界情報センター」**

具体的には・・・

## 電磁界情報センターが目指すリスク・コミュニケーション(2/3)

### ①高い専門性

- 電磁界に関連する学術論文、専門書籍、公文書などを揃えたデータベース(電子媒体、紙媒体)を充実させる。
- 科学および事実に基づく情報をわかりやすく加工し、講演会、ホームページ、パンフレットなどを通じて情報提供する。
- 公表される論文のうち重要なものについて、関連する専門家による評価コメントを入手し、公開する。
- 不明確な記事などの詳細調査を行い、事実誤認などがあれば解説コメントを公開するとともに記事作成者に申し入れを行う。

### ②熱意と誠実さ

- 電磁界の健康影響などへの不安に基づく問い合わせには、迅速かつ徹底的に対応する。
- 「総合討論会・意見交換会」では、参加者との対話の場を設ける。必要な場合には、別途メール、電話、面会などで十分な対話の機会を確保する。
- その他、できるだけ市民との対話の機会を設ける。

(将来の課題として)

### ③高い公共性・中立性

•利害関係者間リスク・コミュニケーション手法の提案・実践のため、ごみ焼却施設等の立地にまつわるリスク・コミュニケーション事例やNGOによる政策提言事例などの情報収集・分析を行い、電磁界のリスク・コミュニケーションのあり方を模索するとともに、信頼される第三者機関を目指す。